

2025 年 7 月 8 日

報道関係各位

GMO インターネットグループ株式会社

「ネットのセキュリティも GMO」第 4 弾
「GMO オープンソース開発者応援プログラム」を 7 月 8 日より開始
～セキュリティ診断 AI エージェント「Takumi byGMO」の利用権を無料提供、
技術者の協力で開発されるソフトウェア（OSS）をよりセキュアな環境に～

“すべての人にインターネット”をコーポレートキャッチに、インターネットインフラ、インターネットセキュリティ、インターネット広告・メディア、インターネット金融、暗号資産の各事業を展開する GMO インターネットグループ（グループ代表：熊谷 正寿）は、「GMO オープンソース開発者応援プログラム」を 2025 年 7 月 8 日に開始しました。

本プログラムは、「すべての人に安心な未来を」のキャッチフレーズのもと 2025 年 2 月より開始した「ネットのセキュリティも GMO」プロジェクトの第 4 弾として、技術者の協力によって開発される、いわゆるオープンソースソフトウェア（Open Source Software 以下、OSS）開発者（個人・法人）の支援を実施するものです。

初回支援として、GMO Flatt Security が開発したセキュリティ診断 AI エージェント「Takumi byGMO」を OSS の開発者（個人・法人）に対し無料で提供します。

IT インフラを支える基盤として社会的意義の高い OSS に対し、開発段階からセキュリティ強化を支援することで、インターネット全体の安全性向上に貢献してまいります。



【「GMO オープンソース開発者応援プログラム」概要】

(<https://www.gmo.jp/security/oss-support>)

本プログラムは、OSS プロジェクトに従事する開発者（個人・法人）に対し、GMO インターネットグループがインターネットインフラ・インターネットセキュリティといった側面から支援をするものです。

初回では、以下の条件を満たし、審査を通過した OSS 開発者（個人・法人）に対し、GMO Flatt

Security の開発したセキュリティ診断 AI エージェント「Takumi byGMO」の利用アカウントを無料で提供します。

ネットのセキュリティも GMO

無料提供

24

GMO

オープンソース開発者 応援プログラム

OSSにセキュリティAIを無料提供。今すぐ対象か確認しましょう

Q 確認

■ 応募条件

以下のすべての要件を満たす個人・法人が対象となります。

- ・ GitHub でソースコードが公開されている OSS であること
- ・ 応募者が個人・法人のいずれかであること（コミュニティの場合は代表者個人名義で応募）
- ・ 採択後、README へ所定バッジを掲示できること
- ・ プログラム利用規約・プライバシーポリシーに同意いただけること

■ 審査内容

継続的なメンテナンス状況などから総合的に判断します。

その他詳細な審査基準は非公開です。

※予告なく受付を終了することがあります。あらかじめご了承ください。

【セキュリティ診断 AI エージェント「Takumi byGMO」】(<https://flatt.tech/takumi>)



「Takumi byGMO」は GMO Flatt Security が開発した、セキュリティ業務に特化した AI エージェントです。Slack 上でセキュリティレビューを依頼するように簡単に利用でき、静的解析ツール（SAST）では検出が難しい潜在的な脆弱性も高精度で検知します。

既に Vim など著名 OSS において 10 件以上のゼロデイ脆弱性を報告しており、その有効性は実証済みです。OSS 開発の初期段階でセキュリティレビューを実施することで、開発工数を抑えつつ、セキュリティ品質の向上に貢献します。

ユーザーは、「Takumi byGMO」を Slack ワークスペースに追加すると、同僚のセキュリティエンジニアに仕事を依頼するように、ソフトウェア実装や設計のセキュリティレビューなどを受けることができます。

・「Takumi byGMO」の詳細 : <https://www.gmo.jp/news/article/9447/>

【「GMO オープンソース開発者応援プログラム」設立の背景】

現代の IT システムの多くに OSS が採用されていますが、多くの OSS はボランティアによって支えられており、セキュリティ対策のための資金や人材が不足しています。その結果、脆弱性が放置され、インターネット全体の安全性に影響を及ぼすリスクが高まっています。

そのなかで、ソフトウェア全体における脆弱性の報告件数は年々増加傾向にあります。NVD（National Vulnerability Database）の公式統計によれば、年間の CVE 公開件数は 2019 年の 17,305 件から、2024 年には 39,974 件に達しており、わずか 5 年で 2 倍以上増加しています。OSS もその一部を占めており、セキュリティ課題は年々大きくなっています。^(※1)

一方、GitHub の 2024 年調査によれば、82%の開発者が OSS 選定時に「セキュア・バイ・デザイン」の考え方を重視し、62%がセキュリティ管理体制を参加判断の基準としています。^(※2)

GMO インターネットグループは、こうした流れを受け、OSS の安全性向上を支援する取り組みを通じて、社会の IT インフラの信頼性向上に貢献します。

(※1) 出典: NVD 国家脆弱性データベース :

https://nvd.nist.gov/vuln/search/statistics?form_type=Basic&results_type=statistics&search_type=all&isCpeNameSearch=false

(※2) 出典: GitHub オープンソース調査 2024 : <https://opensourcesurvey.org/2024/>

【「ネットのセキュリティも GMO」とは】

「ネットのセキュリティも GMO」は、「すべての人に安心な未来を」のキャッチフレーズのもと、2025 年 2 月より開始した GMO インターネットグループ横断プロジェクトです。

■第 1 弾「GMO セキュリティ 24」提供開始 (<https://group.gmo/security/>)

2025 年 2 月 6 日より、世界初^(※3)・24 時間無料で利用可能な総合ネットセキュリティ・サービス「GMO セキュリティ 24」を提供開始しました。本サービスでは、「①パスワード漏洩診断」「②Web サイトリスク診断」「③セキュリティ相談 AI チャットボット」の 3 つの機能を備えており、すべてのお客様に無料でご利用いただけます。

総合ネットセキュリティサービス

GMO セキュリティ24

パスワードの漏洩、WEBの侵入リスクなどを無料でお調べいたします

無料診断

パスワード漏洩・Webサイトリスク診断

その他のセキュリティ相談

「.貴社名」取得はこちら

(※3) 自社調べ

■第2弾「GMO サイバーセキュリティ大会議&表彰式 2025」開催

(<https://group.gmo/security/conference/2025/>)

第2弾として日本最大級のセキュリティイベント「GMO サイバーセキュリティ大会議&表彰式 2025」を2025年3月6日に開催し、政財界やサイバーセキュリティ専門家によるパネルディスカッションなどを実施しました。



■第3弾「GMO『.貴社名』申請・運用支援サービス」の提供開始 (<https://yourbrand.gmo/>)

「GMO『.貴社名』申請・運用支援サービス」は、インターネットの国際管理機関 ICANN が提供する新 gTLD プログラムに基づき、企業名やブランド名などを用いたドメイン「ブランド TLD」の申請を支援するサービスです。「ブランド TLD」は、独占利用ができるため、なりすまし防止やフィッシング対策に有効です。本申請の機会は14年ぶりの新規受付で次の受付は未定となっており、表参道や銀座並木通りのような「ネット上の超一等地」を自社で独占的に利用ができる数少ない機会となります。

10年に1度の取得チャンス！

● 貴社名

まずは「会社名」や「ブランド名」が取得可能か検索してみましょう

会社名 or ブランド名を入力（例：GMO）

Q 検索

 パスワード漏洩・Webサイトリスク診断 >

 その他のセキュリティ相談 >

 「貴社名」取得はこちら

以上

【報道に関するお問い合わせ先】

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL：03-5456-2695

お問い合わせ：<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：<https://group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

© GMO Internet Group Inc.